

令和2年度 学校評価アンケート結果報告

平支援学校

学校評価アンケートへのご協力いただき、ありがとうございました！

学校評価の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。
今年度は、学校経営・運営ビジョンにおいて、「地域で共に学び、共に生きる教育」を基本理念とし、児童生徒が体験的な活動を通して、考えたことを教師や友達と伝え合いながら主体的に学ぶことができる学校づくりに努めました。



保護者の皆様には、その実現のために次の3つの言葉を示しました。

①「子どもとともに」 ②「地域とともに」 ③「仲間とともに」

保護者の皆様からの学校評価アンケートの結果を3つの視点から考察しました。また、昨年度と同じく評価結果を数値に置き換えて分析評価に取り組みました。各数値(指数)の目安は、次のとおりです。

- ①1.5～2.0＝「とても良好な状態」 ②1.0～1.4＝「良好な状態」 ③0.0～0.9＝「改善が必要な状態」
④0.0未満＝「緊急的な対応が必要な状態」 (「はい」の回答を2.0～「いいえ」の回答を-2.0として、回答者数で割った数値となっています。)

1 評価の結果

I 子どもとともに (授業の充実)

【各項目の評価結果】

	小学部	中学部	高等部
①お子さんは、学校の授業をうけることを楽しみにしていますか。	1.7	2.0	1.9
②学校は、学校医や看護師等と連携を密にし、お子さんの健康な身体を育てていますか。	1.6	1.8	1.9
③学校は、社会参加・自立に向け、お子さんに合った教育を行っていますか。	1.7	1.7	1.9

【特徴】

- 全体的に高い評価をいただき、「とても良好な状態」で実践されているという結果となっています。
- 項目3については、小・中・高全ての学部で高評価をいただくことができました。小学部段階から卒業後を見据え、身辺自立を含めた生活力や人と関わりながら生活するために必要な社会性を年齢や実態に応じて学習をしていることが評価される要因の一つと考えられます。今後も、お子さんの将来の姿を見据えた取り組みについて保護者の皆様と情報共有を図りながら取り組んでいきます。



II 地域とともに（連携の推進）

	小学部	中学部	高等部
【各項目の評価結果】			
④学校は、教育の目標や方針を、学校説明の資料や学級懇談・個別懇談などで分かりやすく、保護者に伝えていますか。	1. 6	1. 8	1. 9
⑤学級担任は、保護者と連携を図りながら、個別の教育支援計画を作成していますか。	1. 6	1. 9	1. 9
⑥学級担任は、学習の目標や内容、評価を通知表（個別の指導計画）や個別懇談などで分かりやすく伝えていますか。	1. 7	1. 9	1. 9
⑦学校は、地域の学校と交流及び共同学習を行っていることをご存じですか。	1. 8	1. 9	1. 9
⑧学校は、早期教育相談「あ・そ・び・ば」や教育相談など、地域への支援を行っていることをご存じですか。	1. 8	2. 0	1. 9

【特 徴】

- どの項目においても、「とても良好な状態」という結果を得ることができました。
- 項目7について、今年度はコロナ禍のためビデオレター等による間接交流を行いました。いつもとは違う取り組みでしたが、その内容の説明や情報の共有を保護者の皆様と行えたことが、高評価の要因と考えられます。
- 項目8については、全学部で高評価であり、中学部においては2. 0でした。サービス担当者会議などの地域を含めた相談、様々な通信などでの情報発信が地域への支援の周知につながっていると考えられます。今後も積極的に情報発信をしていきます。



III 仲間とともに（専門性の向上）

	小学部	中学部	高等部
【各項目の評価結果】			
⑨学校は、お子さんや保護者の悩みや相談に専門的な立場から親身になって応じてくれますか。	1. 5	1. 7	1. 9
⑩学校は、お子さんの情報を共有し、継続した指導を行っていると思いますか。	1. 5	1. 8	1. 9
⑪授業は、お子さんにとって分かりやすく、成長に合わせた指導がされていますか。	1. 7	1. 9	1. 9

【特徴】

○項目10においては全学部とも昨年度から上昇が見られています。これらは、昨年度の学校評価委員会で引継ぎについての改善策検討を行い、実践していることも「継続した指導」という点で高評価につながってきていると考えられます。また、コロナ禍だからこそ、色々な情報を保護者の皆様と共有できたことも「情報の共有」という点で高評価につながっていると考えられます。教師間や学部間で引き継いだ内容を保護者の皆様と確認し、学校全体で継続した指導を行っていけるよう、今後も工夫と努力をしていきます。

○項目11についても、昨年度よりも全学部とともに上昇し、特に中学部、高等部で高い評価が得られました。ケース会議や校内研究、日々の教材研究などで、教科担任や担任担当、ブロックの教師など複数の教師で実践を話し合い、授業改善に努めていることが理由と考えられます。今後も継続して生活や学習の記録、個別の指導計画を基に教員同士で話し合い、多角的な視点で子どもたちの成長を支えていけるように努めていきます。

2 まとめ

学校評価へのご協力ありがとうございました。

評価の結果について、評価指数をもとに検証しましたが、各項目、各学部の評価指数とも高い結果をいただくことができました。現在行っている支援や手立て、児童生徒への関わりの有効な部分を継続、改善し、児童生徒や保護者の皆様との信頼関係を築きながら教師一人一人の意識を高めて今後も取り組んでいきます。

今年度も保護者の皆様から多くの皆様から多くの意見をいただくことができました。また、ご意見の中には、「子どもの特徴をよく観察し、得意を伸ばし不得手な所も根気よく指導していただいている。」といったご意見もいただくことができました。保護者の皆様にご理解いただいていることに関しては、今後も継続していけるよう、また、改善が必要なことに関しましては、学校全体で検討しより良い方向に改善できるように、教師一人一人が課題意識をもって取り組んでいきます。

児童生徒が能力や可能性を伸ばし、安全で安心な学校を築いていくために感染症対策を含めた環境づくりや取り組み、対応等について学校全体で再度確認していきたいと思います。保護者の皆様の声が学校をよりよくしていくための気づきとなりますので、今後ともご協力をお願いします。

ご協力ありがとうございました！！

